

# アーカイブ Data Report NO. 41

(2020年9月12日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F  
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

## デジタルアーカイブは、どのように使われているか (2)

### ～処理機能の提示・提供の視点から～

後藤 忠彦、加治工 尚子、加藤 真由美 (岐阜女子大学)

デジタルアーカイブの処理機能は、

- ①提示・提供 …… (データ)
- ②問題解決 …… (情報)
- ③知的創造 …… (知識)
- ④知的処理 (仮) …… (知恵)

などに分類できる。

そこで、提示・提供について、処理機能の視点からどのような活用方法がされているか考察する。

#### 1. 活用目的に応じ検索し、単体で提示・提供

デジタルアーカイブの単体の提示・提供では、

“「こと・もの」の本体に対し、活用の仕方によって、その姿(相)が変わる”

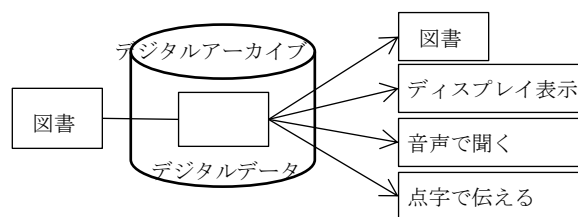
ことである。(体、用、相(姿)は、昔から言われてきた。)

これまで、書籍は、図書館で保管され、必要に応じて取り出し、同じ書籍の姿(相)で見ていた(使っていた)。しかし、デジタルアーカイブでは、図書(印刷メディア)をデジタル化し保管されたデータは、利活用の目的に応じて、

- もとの図書(印刷メディア)としてプリント出力を利用している
- ディスプレイに表示して見る
- 音で表示して聞く
- 点字として表示して伝える

など、用途に応じて表示・提示・提供がされる。

今後、処理技術の進歩によって、この提示・提供の仕方は、さらに多様化するであろう。



#### 2. 用途に応じた提示・提供の構造(仕組み)での分類

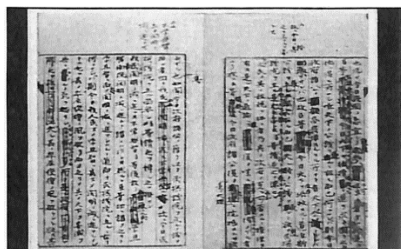
これまでのデジタルアーカイブの提示・提供の状況を見ると、おおよそ、次の三つのカテゴリーに分けられる。

- 単体で使う場合 (1冊の本、1つの写真・映像、話し、・・・)
- 集合させて使う場合 (幾つかの関係のあるコンテンツを集合させ使う)
- 表示の順序で構成し使う場合 (案内、学び、作業、活動等の順序で表示)
- その他 (リンク情報、AI、パターン認識等を用いた表示、今後の課題 等)

次に事例を示す。

### (1) 単体提示（表示）……最も基本的な使い方

1冊の図書データ、1枚の写真・映像、話、民話などを検閲（選び）、コンテンツを加工処理せず利用者に適したメディアで提示・提供する。



④-No.4. 民選議院設立の建言 2

1994年 高知市自由民権会館の資料



語り部 故 種蔵泰一氏



首里城正殿と御庭

### (2) コンテンツの集合表示（いろいろな関係のある資料を集め利用）

デジタルアーカイブから、1つの課題に関係のあるコンテンツを検索し、集め整理し表示（提示・提供）する。

例えば、1つのわらべ歌に関するコンテンツを集合させ、コンテンツのリスト（メニュー）を作り、利用する。

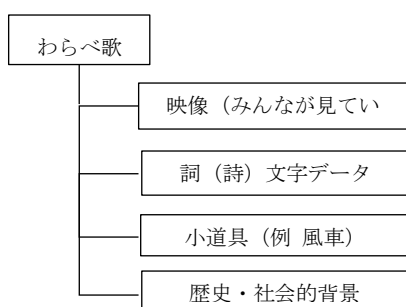


図 2-8 わらべ歌の例



歌、詩、歴史資料、映像、音声等の集合  
(金城美也子, 2013)

（利用者は、必要な項目を選び、提示して活用する。）

コンテンツのリスト等から、さらに必要な情報を選び、使われてきた。（とくに、教育では、図画・地図等を使い、それに関連コンテンツをリンクさせ使われてきた。）

### (3) 提示の順序で構成し、表示、構成表示（提示）

提示に順序がある者として、案内、テキスト、作業手順、オーラルヒストリー、自分史、さらに、e-learning等の学びの順序性のある提示は、古く、1950年代には、CAI等で始まっている。（1950年当時はデジタルアーカイブではなく、コンテンツをプログラムを用いて、提示の順序で並べていた。）

また、一般に提示の順序で並べると同時に、関連資料がリンク情報として活用できる構造になっている。

今後、提示・提供の仕方を支える各分野でオーサリングシステムが開発され、より便利にデジタルアーカイブが使える情報環境の整備が望まれる。

実際の提示での活用では、このような単体表示、集合表示、構成表示を組み合わせて利用している。